

Weekly Bulletin 2019-2020



RI会長

マーク・ダニエル・マローニー



ロータリーは
世界をつなぐ

静岡東ロータリークラブ

会長／新聞桂子 幹事／森下登志美

事務局／静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザマビル5F TEL054-254-5611

例会場／ホテルアソシア静岡 例会日／毎週 木曜日 12:30～13:30

<http://www.shizuoka-east-rc.jp>



会長

新聞桂子

第 2936 回例会

令和 2 年 2 月 6 日 天候 晴

《司 会》 森下 登志美 君

《合 唱》 「君が代」「奉仕の精神」

《BGM》 ラフマニノフ
「ピアノ協奏曲 第3番 二短調 作品30」
「ヴォカリーズ」
交響詩「ロスチスラフ公爵」

《ゲスト》 一般社団法人日中交流センター
代表理事 孫 江明 様

《ビジター》 なし

《本日のお祝い》

お誕生日

結婚記念日

2月12日 山下 勝央 君 2月10日 佐野 哲一 君

2月14日 石田 純一 君 2月11日 石田 純一 君

《ソングリーダー》

近江 陽子 君



皆さんこんにちは。立春を過ぎ、このまま暖かくなることを少しだけ期待しましたが、ここ数日は静岡としてはかなり寒い日が続いています。とはいえ日差しも明るくなり、日も少しずつ伸びてきて、春が近いことを感じさせてくれますし、それこそ立春の日に地元の農家の方々

が出品する地産地消のお店で今年初めてふきのとうが出ていて、それを頂き、春を感じました。

これから花粉の季節になり、風邪もひきやすい季節となります。私も健康に気をつけて元気に過ごしたいと思っておりますが、ぜひ皆様もお元気で春をお迎えください。

《会長挨拶要旨》 (代行) 松本 安之 副会長
「安心・安全なまちづくり」

皆さんこんにちは。本日は新聞会長が欠席のため代わってご挨拶をさせていただきます。

私の会社が「安心・安全」を生業としておりますので、現在の犯罪情勢について警察庁より発表された「犯罪統計資料」より少しお話をさせていただきます。



平成30年度の刑法犯罪認知件数は平成14年のピーク時の280万件から200万件減少し、817,338件(前年比-10.7%)となり3年連続で戦後最少を更新しています。

何らかの刑法犯に遭う国民は156人に1人の割合となり、ピーク時平成14年は(44人に1人)の約1/4になっている。窃盗犯は全刑法犯の71.2%で、その割合は前年よりわずかに低下している。窃盗犯は10年で半分以上に減少しており、侵入盗の減少については、機械警備システムの導入が大きな要因と言われております。また、全国の警察の検挙率が37.9%(前年比+2.2%)であるが、静岡県警の検挙率は41.1%となっており、全国で10位と高水準であるようです。中でも県内の28の警察署の中でもトップは静岡中央警察署で検挙率が48.8%と高い検挙率を誇っているようです。

しかしながら、知能犯オレオレ詐欺が増加しており約9,000件で被害総額が357億円と県内も多くのご高齢者が被害に遭っているようです。その中で官民一体となった取り組みにより被害防止への声かけ等により半数近くの144億円が未然に阻止されているようです。最近では手口が巧妙化しており、劇場型のアポ電による手口などが増加しているようです。2019年の半年間で既に150億円の被害が発生しているようです。

先日、ある業界団体のセミナーで数多くのテレビ番組

にご出演の元神奈川県警 OB の犯罪ジャーナリストの小川泰平さんがオレオレ詐欺対処法として、着信時に「この通話は迷惑電話防止のために録音されます」といったメッセージが流れる自動通話録音機の設置に効果が期待できる。市販では2万円弱で、東京23区では65歳以上が住む世帯に無料貸し出ししている。小川氏は「中には『振り込め詐欺対策のため録音させていただきます』というアナウンスが流れるものもあり、ほとんどの犯人はそれを聞いて電話を切っています」と説明。「実際、被害に遭われた人に話を聞くと99%の方が振り込め詐欺のことは知っていても「自分は絶対、被害に遭わない」と思っていた。それで取り付けない方も多い。子供さんにはご両親への誕生日や父の日、母の日のプレゼントとして贈っていただければ」というのが最善の対処法ようです。

《来賓卓話》

「中国は、いま」

一般社団法人 日中交流センター

代表理事 孫 江明 様

皆さんこんにちは。
まずは自己紹介です。

私は浙江省の紹興市の出身、平成元年生まれの30歳です。紹興市は皆さんご存知の紹興酒を作っている町で、詩人の陸游、作家の魯迅、日中共同声明に調印した周恩来元首相の出身地でもあります。



私は大学在学中に短期留学した際に富士山が好きになり、卒業後静岡県立大学大学院で「少子高齢化社会」「認知症」について学びました。

ボランティアに取り組んでおり、2014年にはふじのくに留学生親善大使を務めました。また、2019年から中国駐日大使館領事支援ボランティアを行っています。社会人としては2015年にSBSプロモーション旅行部に入社、インバウンドの仕事に就きました。2016年9月にはインバウンド部門が独立して一般社団法人日中交流センターが立ち上がり、代表理事に就任しました。

日中交流センターの具体的な事業をご紹介します。中国からの来日と言えば「爆買い」のイメージだと思いますが、多くの中国人は「日本を経験したい」「日本から学びたい」と考えています。

そこで私たちが行っているのは、以下の4つです。

- ① 保育・介護・農業等の産業視察
- ② 工場の見学・意見交換、商談等の企業交流
- ③ 授業・給食体験・書道・音楽等の学校交流
- ④ サッカー・サーフィン・ラグビー等のスポーツ交流

さて「今の中国」についてお話しします。
まずは新型コロナウイルスに関するお話です。
人類は長い歴史の中で、たくさんのウィルスと戦ってきました。中でも「ペスト」「スペインかぜ」「天然痘」

「コレラ」などでは、たくさんの命が失われました。武漢では新型コロナウイルスの感染者が2万人になるかという勢いですが、致死率は高くはありません。しかしワクチンや特効薬がないのが現状です。

それに対して中国では10日間で2棟の病院を建設しました。3,000人を収容することができ、5Gネットワークが完備されていることから遠隔治療にも対応可能です。また、交通規制も実施しましたが、これは人民が一体になれる中国ならではの取組です。

今回の対応が2003年のSARSの時と異なるのはITの進化によるところが大きいです。

百度社やテンセント社が作成したデジタルサービスでは、地域別の感染者数や死者数等がリアルタイムで分かります。また、デマの検証機能があったり、乗った新幹線や飛行機に感染者が同乗しているかどうか分かります。

またアリババ社はオンライン問診のシステムを開発し、1日40万人近いアクセスがあります。

ワクチンや特効薬についても研究を進めています。いずれにしても手洗いや咳エチケットを励行し、予防を徹底することが重要だと思います。

最後に「今の中国のすごいところ」を、日本人を妻に持つ友人に取材しました。

日本人が中国に来て驚くことは、なんといってもキャッシュレスが非常に進んでいるところだそうです。ほとんどのサービスを携帯で受けることができます。飲食店だけでなく、スーパー・コンビニ・八百屋・薬局など、ありとあらゆる店舗で出前サービスを受けることができます。

タクシーもアプリで呼ぶことができます。飲食店の注文も机上のQRコードからでき、会計まで完結できてしまいます。

「中国は、いま」大きく発展しています。食事大変おいしいので、仕事以外でも、ぜひ中国を訪れていただきたいです。そして長いおつきあいをさせていただきたいと思っています。

最後に、「新型コロナウイルスの鎮静化」と、「国際間の理解と親善と平和」を願っています！！

《スマイル報告》

早川 正久 君 結婚記念日のお花、ありがとうございました。25年経ちました。双子の受験が一段落したら、何かイベントをしたいと考えています。

《出席報告》

	会員数	出席	欠席	MU	完全欠席	確定出席率
2/6	47(44)	34	10	-	-	-
1/30	47(45)	33	12	-	-	-
1/23	48(46)	38	8	4	4	91.30%

(会報作成 早川 正久)